

6.1.環境調査

① 地形調査(1/3:境島、鳩崎地区)

調査結果概要

境島地区の人工バーム前面はより緩い勾配に変化している。ワンドは堆積傾向にある。
鳩崎地区は自然バームが形成され、自然バーム背後に砂が堆積している。

調査内容

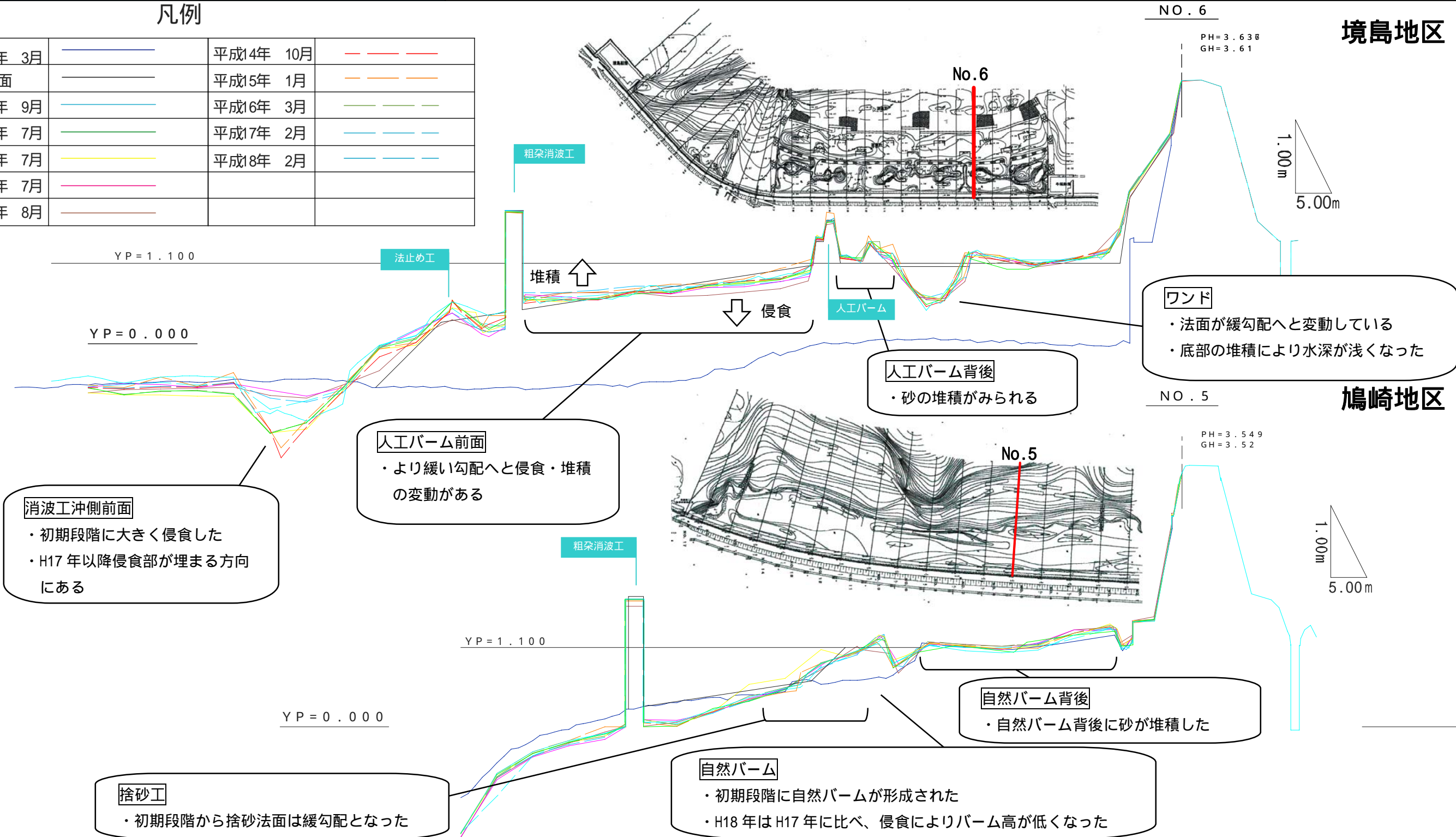
横断測量：養浜5地区（境島、根田、石川、永山、大船津）、鳩崎
夏期（7-8月）1回/年 実施

調査結果

●境島：消波工沖側前面地形は、初期段階に大きく侵食されたが、H17年以降埋まりつつある。養浜の人工バーム前面ではより緩い勾配へと侵食・堆積の変動がみられた。
：人工バーム背後では砂の堆積がみられる。また、ワンド法面が緩勾配となり、底部の堆積のためワンド水深が浅くなってきた。
鳩崎：初期段階から捨砂法面は緩勾配となり、自然バームが形成され、背後に砂が堆積してきた。
：H18年はH17年に比べ、自然バームの地形が侵食され、バーム高が低くなった。

凡例

元地形	—	平成14年 10月	- - - -
平成13年 3月	—	平成15年 1月	- - - -
設計断面	—	平成16年 3月	- - - -
平成14年 9月	—	平成17年 2月	- - - -
平成15年 7月	—	平成18年 2月	- - - -
平成16年 7月	—		
平成17年 7月	—		
平成18年 8月	—		



6.1.環境調査

① 地形調査(2/3:根田、石川地区)

調査結果概要

根田地区は島堤開口部の地形変動が大きい。
石川地区は浅水部分(養浜水際～法止め工)が侵食傾向、自然バームが形成・成長している。

調査内容

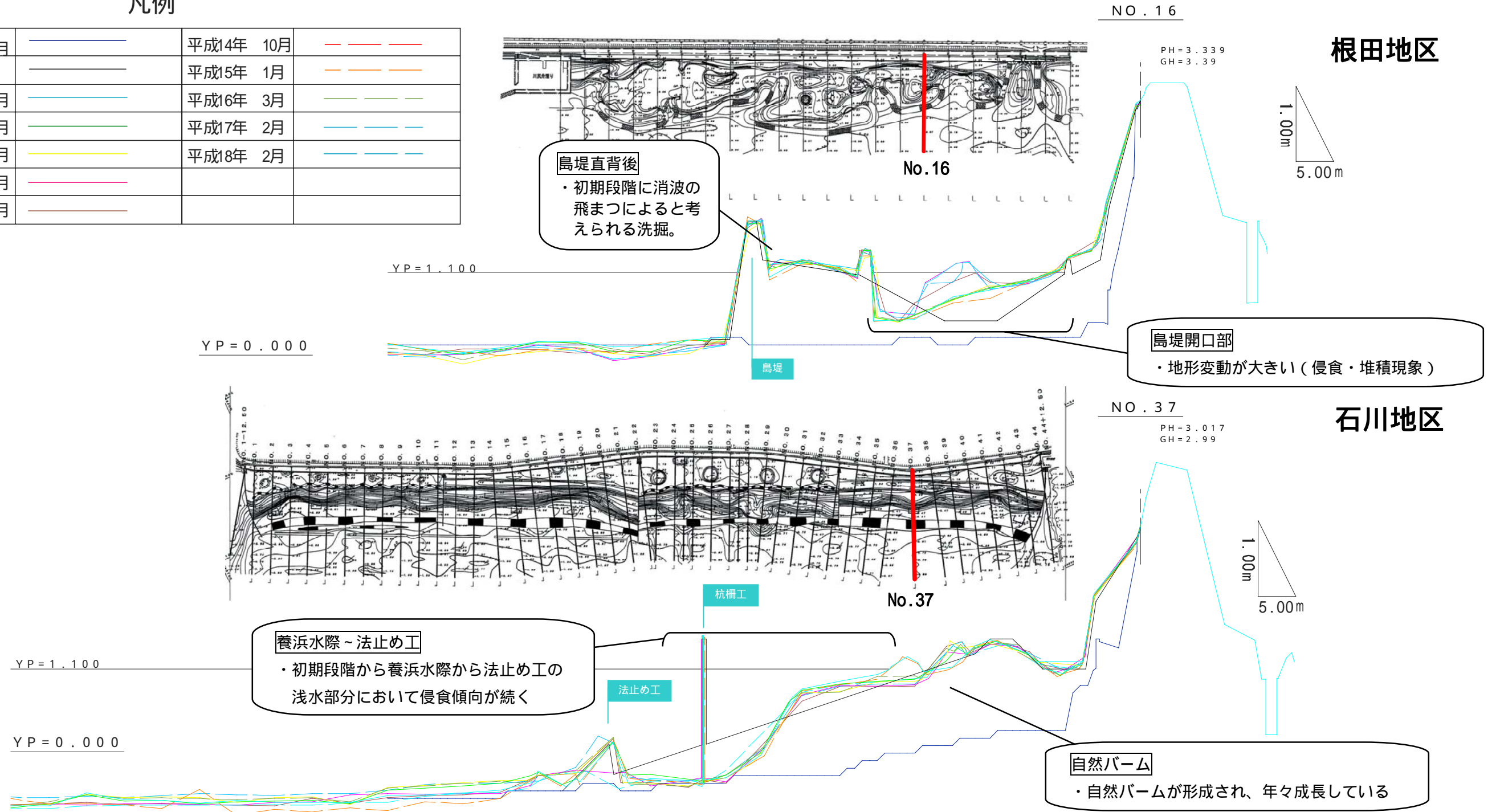
横断測量：養浜5地区(境島、根田、石川、永山、大船津) 嶋崎
夏期(7-8月)1回/年 実施

調査結果

根田：島堤開口部で、初期段階から侵食・堆積現象が見られる。島堤直背後では、消波の飛まつによると思われる洗掘が初期段階に発生した。
石川：各工区では、初期段階に養浜の水際から法止め工までの浅水部分において侵食傾向がみられた。また、人工バームの無い地点では、自然バームが形成された。特に、4工区の内、消波施設のない砂堤工区の地形変動が大きかった。
：H18年は初期変動と同様の傾向が続き、浅水部分の侵食及び自然バームの成長がみられた。

凡例

元地形	平成13年 3月	—	平成14年 10月	---
設計断面		—	平成15年 1月	---
	平成14年 9月	—	平成16年 3月	---
	平成15年 7月	—	平成17年 2月	---
	平成16年 7月	—	平成18年 2月	---
	平成17年 7月	—		
	平成18年 8月	—		



6.1.環境調査

① 地形調査(3/3:永山、大船津地区)

調査結果概要

永山地区は、初期段階に人工リーフ直背後が侵食し、人工バーム前面は砂が堆積傾向にある。また、ワンド部では砂が堆積し浅くなりつつある。
 大船津地区は、人工バームの無い地区で自然バームが成長し陸側に移動しつつある。

調査内容

横断測量：養浜5地区(境島、根田、石川、永山、大船津) 鳩崎
 夏期(7-8月)1回/年 実施

調査結果

永山：初期段階に人工リーフ直背後の養浜が大きく侵食し、人工バーム前面は砂が堆積傾向にある。ワンドや突堤脇の水路部は砂が堆積し、浅くなりつつある。
 大船津：上・中流工区の人工バームのない地点では、自然バームが年々成長・陸側に移動する傾向にある。

